

活動プログラム	No.20 焼き板		
期待される効果			
プログラム概要	針葉樹の杉板に穴をあけ、バーナーで焼き、磨き、ポスカ・ペイントマーカーで板に絵を描いていきます。活動での思い出などを描くことで、学んだことや感じたことを思い起こすきっかけとなります。穴あけ、三つ編みひもづくりなどは、協力し合うポイントです。		
対象	小学生以上	人数	なし
時期	通年	場所	屋根付き広場、創作工芸室
金額	教材単価表参照	大人の人数	子ども15人に対して1人

準備物	団体ごと	新聞紙、ゴミ袋、ポスカ、ペイントマーカー
	服装 個人装備	長袖、長ズボン、帽子、水筒、タオル、軍手
美方高原で レンタル可能な物		バーナー、ハサミ、ドリル、火ばさみ、ライター

#### 活動のタイムスケジュール（例）

時間	運営	安全上のポイント
9:00	屋根付き広場に集合	服装や持ち物確認をする
9:20	手順説明	水分はこまめにとる
	穴あけ	木のささくれがあるので軍手を使用する
	焦がし作業	焦がした直後は熱いので素手で持たず、冷ますか、軍手を使用させる
	磨き作業	バーナーを使用している人の周りに近づかない、ふざけない
11:20	絵付け	インクが服等につかないように注意する
	飾り紐づくり、取り付け	
11:50	片づけ ふりかえり 終了	

#### 補足ポイント

- 作成後、インクを乾かす必要があります。
- 木の枝や木の実を集めて飾り付けることもできます。グルーガンスティックをご持参ください。
- のこぎりなどを使って木の形を変えることができます。

活動 プログラム	No.20	焼き板
-------------	-------	-----

予期されるリスク	リスクに対する対応
トゲ	木のささくれがあるので木を扱う時は軍手を使用する。
切り傷	道具など使い方には気を付ける。道具の使い方を事前にレクチャーをする。
火傷	焦がした直動の板は熱いので十分に冷ます。
寒さ	梅雨時期や9月以降で寒さを感じる場合があります。防寒着の用意や絵付け、三つ編み紐づくりは創作工芸室を活用する。
蜂との遭遇	遭遇した場合の対応を伝えておく。活動エリア付近の蜂の巣の駆除。

事前点検・準備事項
バーナーの残量は十分にあるか
指導する指導者と打ち合わせができているか
持ち物の確認ができているか。
参加者の年齢、人数、スタッフ数、体調面などの情報は確認できているか。
運営方法やタイムスケジュールは明確に共有されているか。
施設の準備物は使用可能な状態か。数は揃っているか。
参加者もしくは団体への持ち物の伝達は行っているか。

活動時のインストラクション（必須事項）
木を焦がした後は、熱くなっているので軍手を使用すること
木を磨くときはトゲによるケガを防ぐため、軍手を使用すること
インクが地面につかないように、書く時は新聞紙を下に敷くこと